

ニワトリ卵殻で消臭剤

抗菌研究所 野菜フィルムに配合



廃棄企業に回収呼びかけ

【宇都宮】抗菌研究所(青森県八戸市、丸尾茂明社長、0178・511・9019)は、ニワトリの卵殻を使った微粉末抗菌消臭剤を開発した。卵殻は水素イオン濃度を表すpHが高く、短時間で殺菌・消臭が可能。同消臭剤を熱可塑性樹脂に配合した「卵殻鮮度保持フィルム」はカット野菜などの保存に適しており、9月から販売する。同社の2016年3月期の売上高は4億円程度。同社は新事業の卵殻分野で「初年度3億円の売上高を目指す」としている。

抗菌研究所はホタテの貝殻が原料の水酸化カルシウム粉末「スカロ」が主力製品。高い塩基性が特徴で、抗菌や消臭効果に優れるほか、熱可塑性樹脂などに配合した抗菌・消臭加工製品を開発している。

卵殻が原料の「スカロ」(左)と卵殻

新たに開発した卵殻が原料の抗菌・消臭剤は、従来の貝殻が原料のもの比べてpHが1程度高く、より短時間で効率良い殺菌、消臭が可能になった。

一般に、家庭や食品加工工場などから廃棄される卵殻は年間20万トン程度あり、その約8割が廃棄物として処理される。それらの資源

の有効活用や廃棄処理の負担軽減にもつなげる。今後は卵殻を廃棄する企業に協力を呼び掛け、シェア拡大を図っていく。

カット野菜などの鮮度を保つ卵殻鮮度保持フィルムを売り出し、その後は幅広い素材に配合し、同消臭剤の利点を多分野で活用する考え。同フィルムについて「野菜や肉など、鮮度の問題で運ぶことができなかった場所にも届けることができると話す。処理設備は現在、貝殻と同様のものを使用するが、17年度をめどに卵殻処理専用の設備を導入する方針だ。

木田精工、メッキ新設備

空調機器向けネジ需要対応

【東大阪】木田精工(約6000万円で、生二ウム合金コートイン

のほかメッキ装置の開発も手がけており、今回導入するラインは自社開発した。既存ラインでは一部の作業を人手で担っていたが、今年に開始。耐食性が評価され、これまで取引関係がなかった空調機器分野からも今春に受注したばかり。そのため3月にも増産体制を整えていた。

◆昨年度の融資9
日本政策金融公庫山成資金」の2015年度のなった。件数は9件で向けが3億7000万円とは前年度(3億1000万事業育成資金は高い成たな事業に取り組む中を支援する特別貸付制

◆英のEU離脱と
埼玉県、埼玉県産「イギリスのEU離脱題した緊急セミナーをビル(さいたま市大宮愛知淑徳大学ビジネス光教授。英国のEU離の事業展開にどのよう説する。定員80人で参は県産業労働部企業」(048-830-3766)へ。

◆起業テーマに催
尼崎信用金庫 27日造館(大阪府中央区Pフェスタ)を開く。共催で、今後、起業象。小山ロールで知らエエスコヤマ社長が、訪れる店を作るまでの成功率を高めるセミ談コーナーも設ける。人。問い合わせは経産・05-4506)へ。

◆参加型起業セミ
もみじ銀行 27日市市のイコールふくや「もみじ創業応援スー」を開く。起業を目指人、第2創業を考え先輩起業家や講師を田などを行う参加型セミナーを開催。定員30人。せは同行地域振興部

◆震災廃棄物の処
麻生セメント(福厚5100)熊本地震で発生理を支援する。熊本県トを苅田工場(福岡)れ、セメント原料とし県災害廃棄物処理実行から福岡県に要請が成

◆ANAウイング
宮崎県 ANAウイイ王子(東京都大田区

不良債権比率を一層改善

出番

UR TURN



東京東信用金庫理事長

相野

入庫以
浅草、松
立、荒川
近く支店
た。それ

れる信用金庫」という前理事長の思いを引き「地域社会と共存共栄トナーとしてウイン：関係を築く」と語る。

中長期経営計画ではの強化、人材の育成とンプライアンスの徹底の経営課題を掲げる。の不良債権比率の改善99年の約16%が15年6%に改善。「年度内均の4・78%以下にし強調する。

好きな言葉は「落い」。そのため「あい元氣よく」と明朗快活る。趣味は釣り、ゴルフは「奥さんからせつ言われる」とか。(茂